



青木のりお(31)
プロフィール
 昭和52年8月26日生まれ
経歴
 1984年・川崎めぐみ幼稚園卒
 1990年・洗足学園小学校卒
 1993年・サレジオ中学校卒
 1996年・サレジオ学院高等学校卒
 2000年・産業能率大学経営情報学部卒
 2004年・ポリス大学大学院(イギリス)国際経営学Dip取得
 2007年・川崎市議会議員に当選

趣味
 野球(ピッチャー)、アメフト(クォーターバック)、英会話、茶道(圭鳳流師範お茶名鳳雄)

平成21年
 新春インタビュー

青木のりお市議会議員 「皆の力で未来に夢を」

企画・製作／自民党川崎市議団 青木のりお 聞き手 (地元有志Yさん)

聞き手―川崎市議会議員になり2回目の新春ですね。昨年はどうな年でしたか？

青木―昨年は、現場をキーワードに地域回りを大切にしました。具体的には、地域の消防団の活動も真剣に務め、幼稚園や小学校、地域のイベントにもできるだけ参加し多くのご助言・ご苦言いただきました。

聞き手―では、議会の活

動にはどのように生かしたのですか？

青木―市議会議員は、国会議員と比べて予算権も人事権もありません。その中で、地域の方の声を市政に具体的に伝える事を重視しました。皆さんに教えてもらったことが、役にたったことはいまありません。

聞き手―なるほど、のりおさんはなぜ「現場」をキーワードにされたので

すか？

青木―政治は姿勢と政策で議論をし、結果を出すものではないでしょうか。原因がわからずに結果は出せません。現場の声なくして政策もないのです。

聞き手―具体的にはどんな活動をされてきましたか？

青木―人口140万人の川崎市という大きな舞台で、財政の健全化、少子



市の職員らによる洪水対策

化対策、教育問題という避けて通れない問題を議論してきました。また、ゲリラ豪雨後の土砂災害対策や都市計画道路の優先順位、狭隘道路問題などもまちづくり委員会として取り組みました。

聞き手―なるほど。話は変わりますが、のりおさんは8月から自転車で議会に通っているとのことですが？

青木―はい、放置自転車や自転車の走行が問題となっており、これは自分で乗ってみないとわからないと感じ、高津区と川崎市役所を往復しており



議会には自転車を通い、走行距離は半年で1500km

今年度の抱負をお願いします。

青木―今年のキーワードはb-logのサブタイト



平成21年のゲリラ豪雨に伴う市の洪水対策説明会

自由民主党神奈川県川崎市高津区第6支部
青木のりお事務所
 〒213-0027 神奈川県川崎市高津区野川3895

TEL 044-788-8899
 FAX 044-788-6440
 E-mail info@aokinorio.com
 H P http://aokinorio.com

ルにもあります。ピンチはチャンス。アメリカに端を発した金融危機の影響は今後さらに拡大してゆくでしょう。だから、百年に一度の危機には百年に一度の政策が必要になると思います。変化の時期にこそ、知識が知恵に変わり、新しいものが生まれます。

今こそ、皆さんの力を集結して、未来に夢が持てる生活を実現しましょう。耳障りなことも言う時もありますが本年もがんばりますのでよろしくお祈りします。